

○ 平成 28 年度 第 7 回 『こどもの内分泌疾患（成長ホルモン）』 ○

講 師：広島大学病院 小児科 坂田 園子 先生

実施日時：平成 28 年 11 月 24 日（木） 14：00～16：00

会 場：広島県三次庁舎

対 象 者：成長ホルモンに関する疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：21 名（家族 7 名、養護教諭 5 名、看護師 3 名、保育士 2 名、その他 4 名）

担当：北部保健所

○講演内容

①こどもの成長について

食生活・運動・睡眠・遺伝など

②低身長と成長ホルモン分泌不全性低身長

正しい身長の評価、成長曲線、精密検査

③SGA 性低身長

SGA の成因、日本での低出生体重児の増加

④プラダーウィリー症候群

症状、問題点、治療、成長ホルモンの効果について

⑤ターナー症候群

染色体検査、症状

⑥思春期の異常、その他の低身長をきたす疾患

思春期早発・遅発症、甲状腺機能低下症、脳腫瘍、愛情遮断症候群

⑦成長ホルモンの治療の実際について



○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「専門の先生に話を聞いてみたかった」「日々こどもに注射を打つことなどに悩んでいる」

「保護者の方への啓発のため勉強しようと思った」「近い場所で開催されたので」

<参加された方の感想>

「講義も質問に対しての先生の返答も分かりやすかった」「同じ地域の方とお話が出来た」

「気になっていたことが聞けたため、来て良かったです」

○担当者より一言

北部保健所で成長ホルモンについての交流会を開催しました。ご家族の参加は 6 組でしたが、地域の関係者は 14 名と高い関心を持たれている事が伺えました。低身長は早期発見早期治療が大切なため、ご家族への啓発が重要となります。講師は低身長に関する疾患、成長曲線などについて大変分かりやすく説明され、関係者へも低身長の理解が深まりました。

ご家族の参加は多くありませんでしたが、「また是非北部で開催してください」という声も聞かれ、県下各地で開催することの意義も感じる事が出来ました。

